

地域包括ケアの実現に向けた ヘルスケア・ビッグデータによる EBPMの推進

～福岡市地域包括ケア情報プラットフォーム～

 福岡市 保健福祉局 政策推進部 政策推進課



1.福岡市の人口と高齢化の推移

【福岡市の人口と高齢化率の推移】



■日本の人口は2010年の1億2800万人をピークに減少

■福岡市は，2013年に人口150万人を突破，2035年をピークに緩やかに減少

■現在の高齢化率は21.0%，2040年には人口の約1／3が高齢者に！

2.高齡化がもたらす地域課題

慢性的な疾患を抱えながら地域で生活する人の増加

- ・ 病院での医療は急性期医療を中心としたものに
- ・ 慢性期の療養は「施設」から「在宅」へ，「医療」から「介護」へ

家族や医療・介護関係者など支える側の負担増加

- ・ 「治す」から「支える」への転換 = 地域で支える人の負担増
- ・ 地域の特性に応じた細やかな制度設計やサービスの拡充が重要に

地域における社会資源やサービスの不足

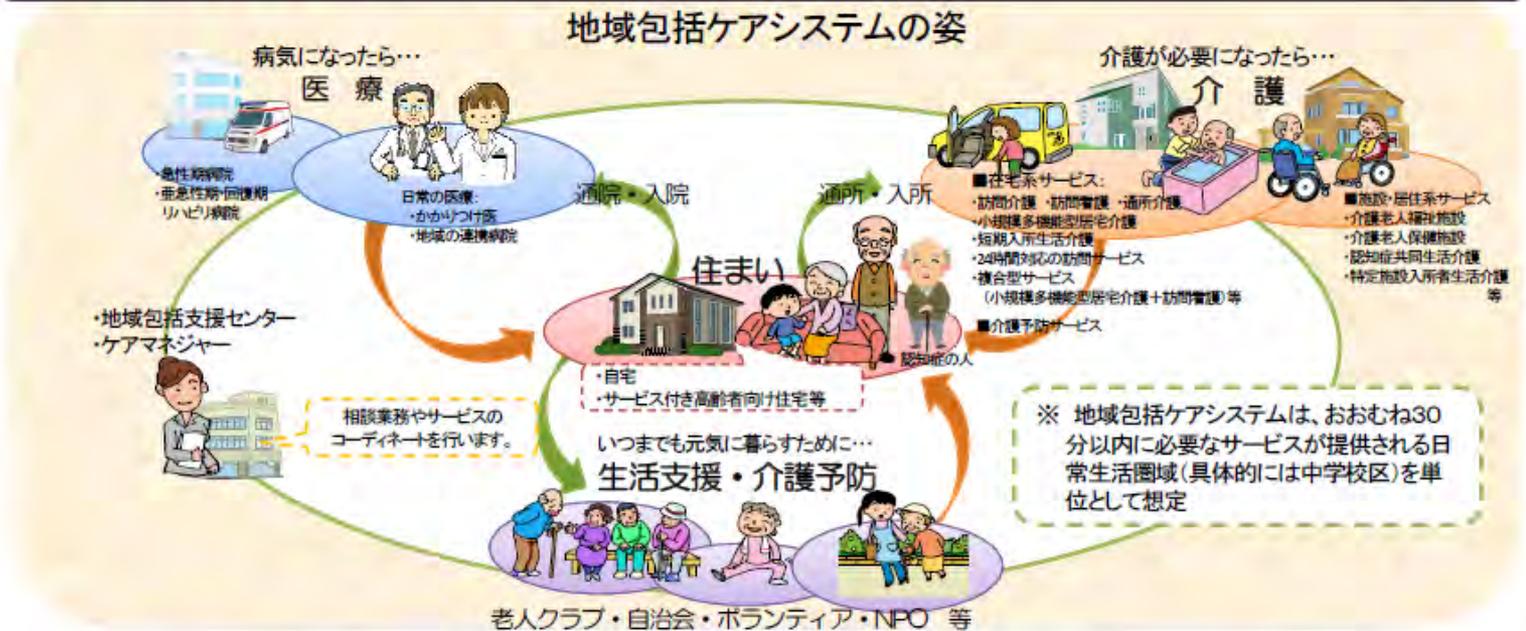
- ・ 地域で生活していくためには，様々な社会資源やサービスが必要に
- ・ 公的サービスだけでなく，民間による自主的なサービスの拡充を促進

【課題解決に向けた国方針】

「地域包括ケアシステム」の構築を推進

3.地域包括ケアシステムとは

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**
 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。**



保険者である市町村が地域の自主性や特性に応じて作り上げていく！

4. ケアシステムの実現に向けた3つのポイント

科学的エビデンスに基づく最適な施策の企画・立案

医療や介護，予防（健診）等において，地域で何が求められ，どの資源やサービスが不足しているのかを把握し，制度やサービスを効率的に拡充。

医療や介護関係者の負担軽減とケアサービスの質の向上

家族を含む医療・介護関係者が相互に連携できる環境を整備し，ニーズに見合ったサービスが切れ目なく、効率的に提供される仕組みを構築。

生活する上で必要となる社会資源情報の集約・提供

地域における医療機関や介護施設の状況，配食や家事援助など民間提供の生活支援サービスなどを集約し，幅広く提供する仕組みを構築。

【課題解決に向けた福岡市方針】

地域包括ケアシステムを支える情報通信基盤を整備

5.ICTを活用した地域包括ケアシステムの実現

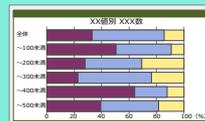
(1) データ集約システム (careBASE)



福岡市の保有する「住まい・医療・介護・
予防・生活支援」に係る情報を集約

**分析・共有・提供を実現するための
ビッグデータを管理**

(2) データ分析システム (careVISION)



医療・介護のクロス分析、データを地図上に
シミュレーション マッピング

**エビデンスに基づく施策の
企画・立案を支援**

【福岡市地域包括ケア情報プラットフォーム】

(3) 在宅連携支援システム (careNOTE)



ケア対象者の生活状況を
関係者間でリアルタイムに共有

**医療や介護事業者の負担を軽減し
ケアサービスの質を向上**

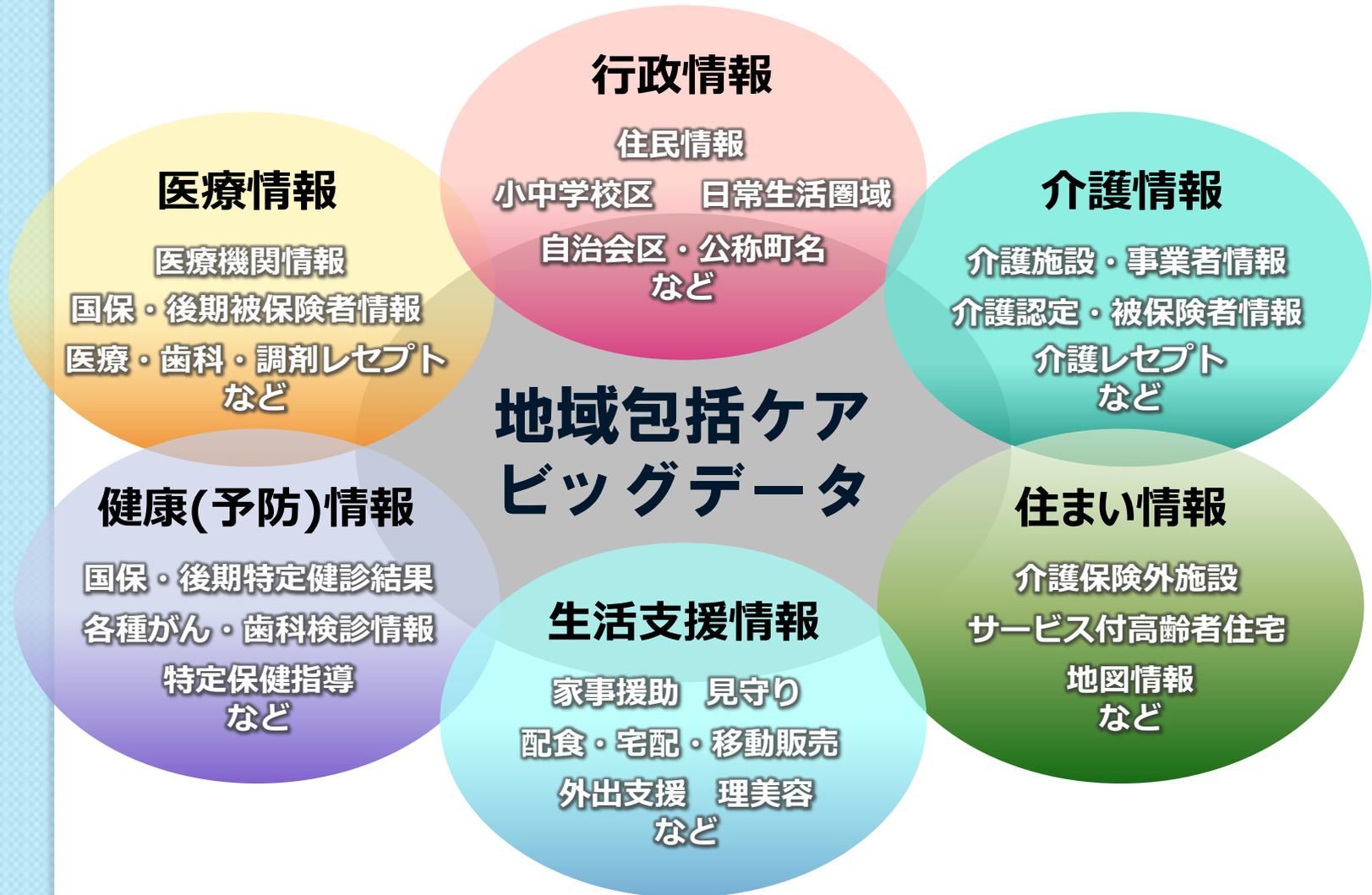
(4) 情報提供システム (careINFO)



インフォーマルケアサービスなどの社会資源
情報を地図と組み合わせてWeb上で公開

**生活していく上で必要となる
サービスや資源を幅広く提供**

6. データ集約システム（careBASE）の概要



行政や各主体で断片的に管理されていた
医療・介護・健診データを住民情報に紐づけて管理

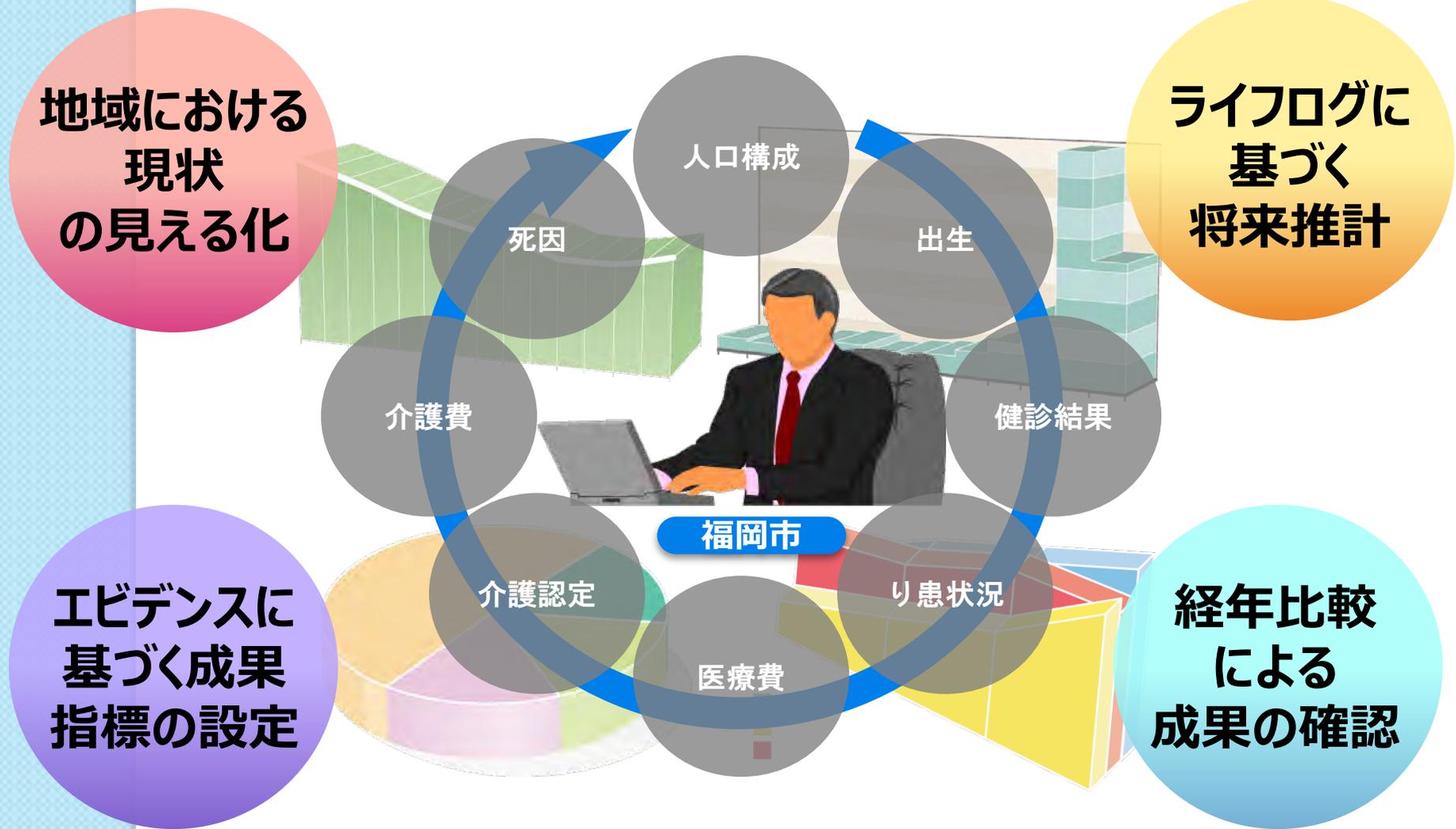
【 careBASE 】 主なデータの集約状況

主な集約データ		蓄積年数
住民情報	住民記録, 校区や自治会情報など	18年
健診情報	国保・後期加入者の健診結果, 問診項目など	10年
医療情報	国保・後期加入者の被保険者情報, 医療レセプトなど	7年
介護情報	介護保険加入者の被保険者情報, 介護レセプトなど	18年

毎月, 最新データを蓄積

約230種23億件

7. データ分析システム (careVISION) の概要



科学的エビデンスに基づく施策の企画・立案と
成果の確認・見直しによるPDCAサイクルの実現

【careVISION】福岡市の地域特性分析



2016年度における年齢階級・男女別人口数

【careVISION】 健診と医療の相関関係分析



2016年度の健診における腹囲区分異常者の疾患別患者数（割合）

【 careVISION 】 地図情報を活用した分析

☆ ☆ ブックマークの選択 詳細 開じる

患者数 レセプト数 医療費 患者当たり医療費 ジェネリック代替効果金額 受診医療機関数 介護被保険者数 介護認定者数 介護保険利用者数 介護保険未利用者数

患者数 Fukuoka City careVISION

分析中の人数141,189人

アンロック ロック ロック(クリア)

選択条件

年度(医療) 2016
レセプト種別 医療レセプト
ICD10(大分類) 100-199 循環器系の疾...

条件クリア

検索

基本 レセプト情報 医療機関

健康保険種別

国民健康保険
 後期高齢者医療保険

医療受診

受診 未受診

レセプト種別

医療レセプト
 歯科レセプト
 調剤レセプト

入院外来

入院 外来

疑い病名

無 有

第一主病名

第一主病名19分類 DX 循環器系の疾患
第一主病名119分類

薬効分類

薬効分類名(3桁) :-
薬効分類名(4桁) :-

ICD10

ICD10(大分類) 100-199 循環器系
ICD10(中分類)
ICD10(小分類)

主要疾患

悪性腫瘍 高血圧
 虚血性心疾患 認知症
 脳血管疾患 慢性腎不全
 糖尿病 脂質異常症

現在のディメンション
4次メッシュコード(医療)

- 介護事業所_みなし(歯科)_16_通所...
- 介護事業所_みなし(歯科)_31_居宅...
- 介護事業所_みなし(歯科)_34_介護...
- 介護事業所_みなし(歯科)_63_介護...
- 介護事業所_みなし(歯科)_64_介護...
- 介護事業所_みなし(歯科)_66_介護...
- 介護事業所_みなし(調剤)_31_居宅...
- 介護事業所_みなし(調剤)_34_介護...
- 医療機関_01_内科
- 医療機関_02_精神科
- 医療機関_03_神経科
- 医療機関_08_循環器科
- 医療機関_09_小児科
- 医療機関_10_外科
- 医療機関_11_整形外科
- 医療機関_12_形成外科
- 医療機関_13_美容外科

地図情報を活用し、患者や要介護者の分布（ニーズ）と医療機関や介護施設等の整備状況（リソース）を見える化

選択した施設の場所を、地図上にマーカー表示

行政区、日常生活圏域、小学校区、4次メッシュ(500m四方)の4種のエリア分析をサポート!

ディメンジョン 4次メッシュ 区 日常生活圏域 小学校区

2016年度における循環器系患者と循環器科を持つ医療機関の分布

【 careVISION 】 これまでの歩み

年度	作業概要
平成27年度	現状分析を中心としたコアシステム開発 (チャートおよび地図分析 約80種)
平成28年度	保健福祉関係課(約40課)への試験導入 将来推計機能の追加
平成29年度	健診結果に基づく医療費および介入効果のAI予測 と介護サービスの質の分析機能の追加
平成30年度～ (予定)	民間サービスの拡充に向けた分析結果の オープンデータ化

8. エビデンスに基づく施策形成の推進

careVISIONの活用によりスピーディなサイクルを実現！

地域・集団の
健康評価
(地域診断)

テーマ設定(見直し)

目標・指標の設定
介入効果の予測
将来推計など

C A

D P

施策・事業
の実施

施策の立案
(施策の見直し)

参考文献：自治体における生活習慣病対策推進のための健診・医療・介護等データ活用マニュアル（国立保健医療科学院発行）

9. 最後に...～プラットフォームが導く未来～



PHR(Personal Health Records)を活用した
効率的な医療・介護サービスの提供



スマートデバイス等を活用した
被験者データの収集と高精度な分析



アプリやIOT機器による
積極的な健康管理と専門職による支援

地域包括ケア情報
プラットフォーム



分析結果のオープンデータ化による
新たなヘルスケアサービスの創出

様々なテクノロジーを活用し，誰もがいつまでも
健康でいられる街づくり「健康先進都市」を実現！